

ワーキング・グループからの報告

Working Group

『天文台・学校連携WG』報告

代表 濱根寿彦（ぐんま天文台）

発足して3年経った。初年度は活動実践資料の收拾に努めるなどの活動を行ったが、その後休眠状態にある。代表の怠慢以外の何物でもない。

このところ、公開天文台、科学館等で学校との

連携が実現しはじめ、報告もなされるようになってきた。このような状況に鑑み、このWGの目標と活動方針を再検討し、存続するかどうかも含めメンバー間で協議したい。

『プラネタリウムWG』報告

代表 小野夏子（板橋区立教育科学館）

■活動報告■

プラネタリウムWGは、後に示すように全国にメンバーが散らばっています。そのため、WGとして、集会を持って活動することが困難です。プラネタリウムの集会有一些にグループメンバーの一部が集まって語り合うことは有りますが、幸いなことに現在のメンバーは全員電子メールを使用できる状態にあるため、我々の活動ベースは、主に電子メール（メーリングリスト）による情報交換となっています。

我々がメーリングリストを通じて情報収集（交換）を行っているのは、「プラネタリウムを利用した総合学習」です。来年度から実施される新しい学習指導要領に登場する「総合学習」。どのように扱っていったらよいか戸惑っているのは、学校だけでは有りません。プラネタリウムを利用してどんな総合学習の取り組みが可能なかを蓄積し、発信していきたいと考えてきました。

■今年度の活動計画■

さて、今年度の活動をいたしましては、これまでに情報収集・検討してきた「総合学習でプラネタリウムを利用しよう！」をまとめる作業を行います。まとめた情報は「Web Pageにまとめ誰もが閲覧できるようにする」という方法と「印刷媒体（紙媒体）に起こして、全国のプラネタリウムに配布」という2案が挙がっています。

Web Pageにつきましては、頻繁に更新することも可能なので（更新の担当者が手間を掛けられれば、ですが）新しいアイデアや情報実践報告などを気軽に追加アップができると思います。また、印刷媒体に関しては、一定のところまで締切を設け、

それまでの情報をまとめる形で作り上げることになろうかと思えます。いずれにしても、まもなく新指導要領が本格的に動き始めるため、この作業は、今年度中に仕上げなければならないと考えています。

■新メンバー募集■

こんな、プラネタリウムWGでは、常時メンバーを募集しています。現メンバーは、施設の職員が中心で、学校教員の方がいらっしゃいませんが、天文教育普及研究会のメリットは、学校教員と施設の職員が連携しながら活動できることであると考えていますので、学校教員のみならず是非ご参加ください。もちろん、施設関係者や学生さんも歓迎いたします。広くイロイロな視点から情報を頂けると幸いです。プラネタリウムWGへご参加いただける方は、WG代表小野夏子（e-mail: natsuko.ono@nifty.ne.jp）宛にご連絡下さい。

■プラネタリウムWG・メンバー■

小野夏子	板橋区立教育科学館	関東
坂元 誠	西はりま天文台	近畿
古屋昌美	かわべ天文公園	近畿
安田岳志	星の子館	近畿
山西正博	佐治天文台	中国
木村嘉男	青森市中央市民センター	東北

（8月5日現在のメンバーです。）

★別件★

旧・プラネタリウムWGで作成した「教育のためのプラネタリウム」ですが、まだ少し残部あります。ご希望の方は、問い合わせ下さい。